

IX. その他の危険有害性情報の「見える化」

物を落とさず下の様子も明るくよく見える化

基礎地中梁施工時の地足場は人の墜落を手摺と中棧で防ぎ、物の落下を足場板巾木で防いでいます。

◆足場板巾木は

長さは2m,4mの定尺で木製のため

- ・2m未満は定尺物を切断して取付けなければならない。
- ・現場合合わせのため重ね代が通路や作業床に出っ張り躓きの要因になる。
- ・現場合合わせのため重ね代が通路や作業床が狭くなる。
- ・木製のため見通しが効きません。
- ・木製のため日陰が出来て暗くなります。
- ・資材の搬出入など一時的に足場板を外す場合番線切断 結束など手間がかかり元通りに復旧されにくいことが多くあり危険の種となります。



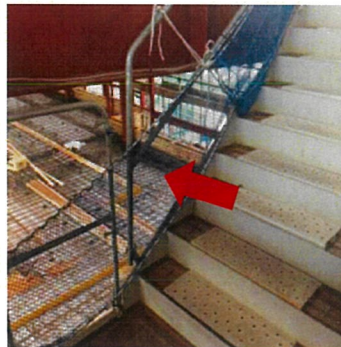
単管手摺中棧と足場板巾木の地足場



人の墜落対策を手摺と中棧、物の落下を防網を巾木型に取付けた地足場

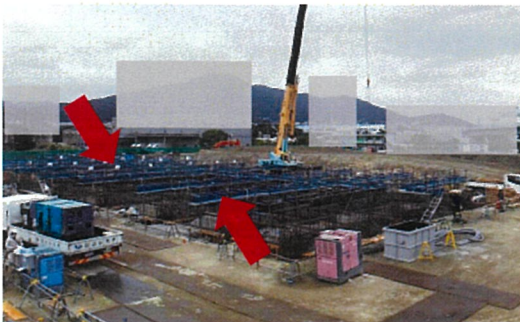


⇐ 外部足場に防網使用
外部シートやメッシュシートで暗くなりがちな下部の明るさを確保出来ます。



↑ 足場階段に防網使用
外部足場の階段廻りからの落下物への安心感に繋がります。

⇐ 鉄骨階段に防網使用
階段昇降時に下階の様子も見通せ落ちない安心感があります。



鉄筋組立時の防網使用地足場



型枠組立時の防網使用地足場